

製品資料

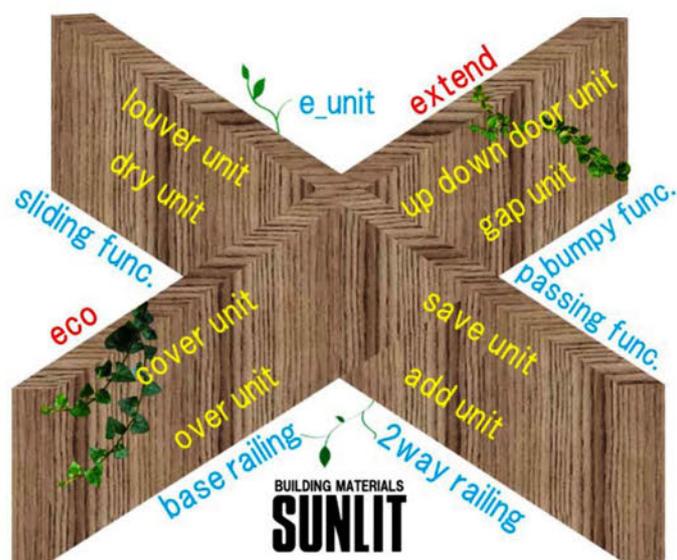


e_unit イーユニット

1.. 開発の背景	-----	3
2.. 構造	base railing 2way railing	手摺を下地として分割 2つの方法
3.. 製品	minervasr ミネルバ ^ス sr amysr エイミー sr	縦ルーバー 横ルーバー (ルーバーリスト) --- 4-12
4.. 機能	sliding function passing function bumpy function	上下摺動-----13 通過機能-----14 出幅変更-----15-16
5.. 用途	louver unit ルーバーユニット dry unit ドライユニット cover unit カバーユニット over unit オーバーユニット save unit セーブユニット add unit アッドユニット gap unit ギャップユニット up down door unit stack partition	ルーバー付手摺-----17 サリット物干付手摺 H380-----18 室外機、パネーションを隠す-----19 落下事故防止の二重式手摺-----20-22 落下恐怖感の無い手摺-----23-24 ガラスの比率を落とす。-----25 手摺の四方の隙間をなくす。-----26 アップダウンドアユニット(くぐり戸) -----27 超高層用積重ね式間仕切-----28

e_unit

手摺とルーバーの統合化商品ユニット



《工法 2wayrailing》

1本のルーバーに2つの接続固定軸を持つ事で、縦ルーバーも横ルーバーも全方向自在に摺動可能となりました。この構造の改善により機能の向上、用途の拡大が進み、製造面では製造部品減少、製造設備減少、製造速度上昇が進みます。

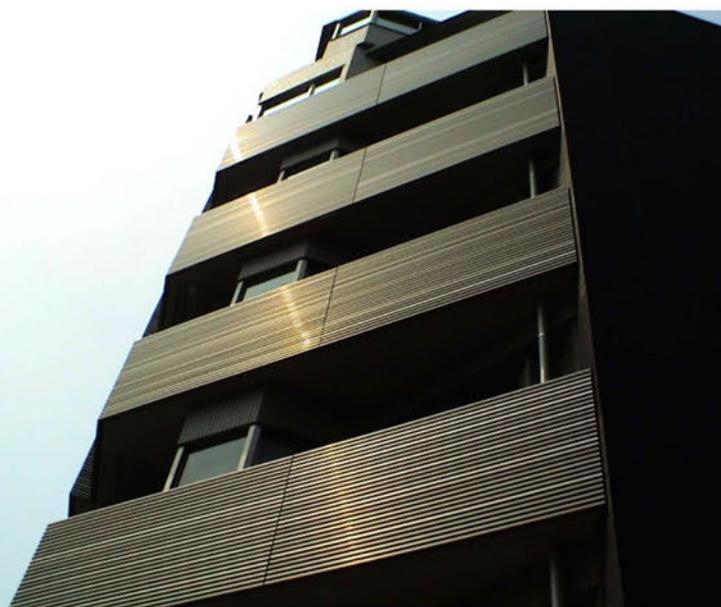
バルコニー廊下手摺の多くは躯体芯か内面に設置されますが、外装パネルe_unitの発売は、手摺が躯体芯から外壁へ持ち出された瞬間であり、限りの無い外壁装飾商品としての用途拡大の始まりとなりました。

手摺は何百年の昔から縦格子と横格子しかなく、デザインの根本的なところは変わっておりません。

《工法 base railing》

その原因は、手摺りを一つの物として捉えているからであり、これを手摺（支柱と笠木）とパネルに分割して考えると、今まで、開口部の中だけでデザインしていたものが、一気に外装材として広がってきます。要するにe_unitは、バルコニー、廊下の手摺の構造を改革したものであり、これから外装材として伸びていく手摺の基礎になってくるものです。

例えば下地にe_unitの手摺を使う事で、従来のルーバーの下地が不要になる等です。

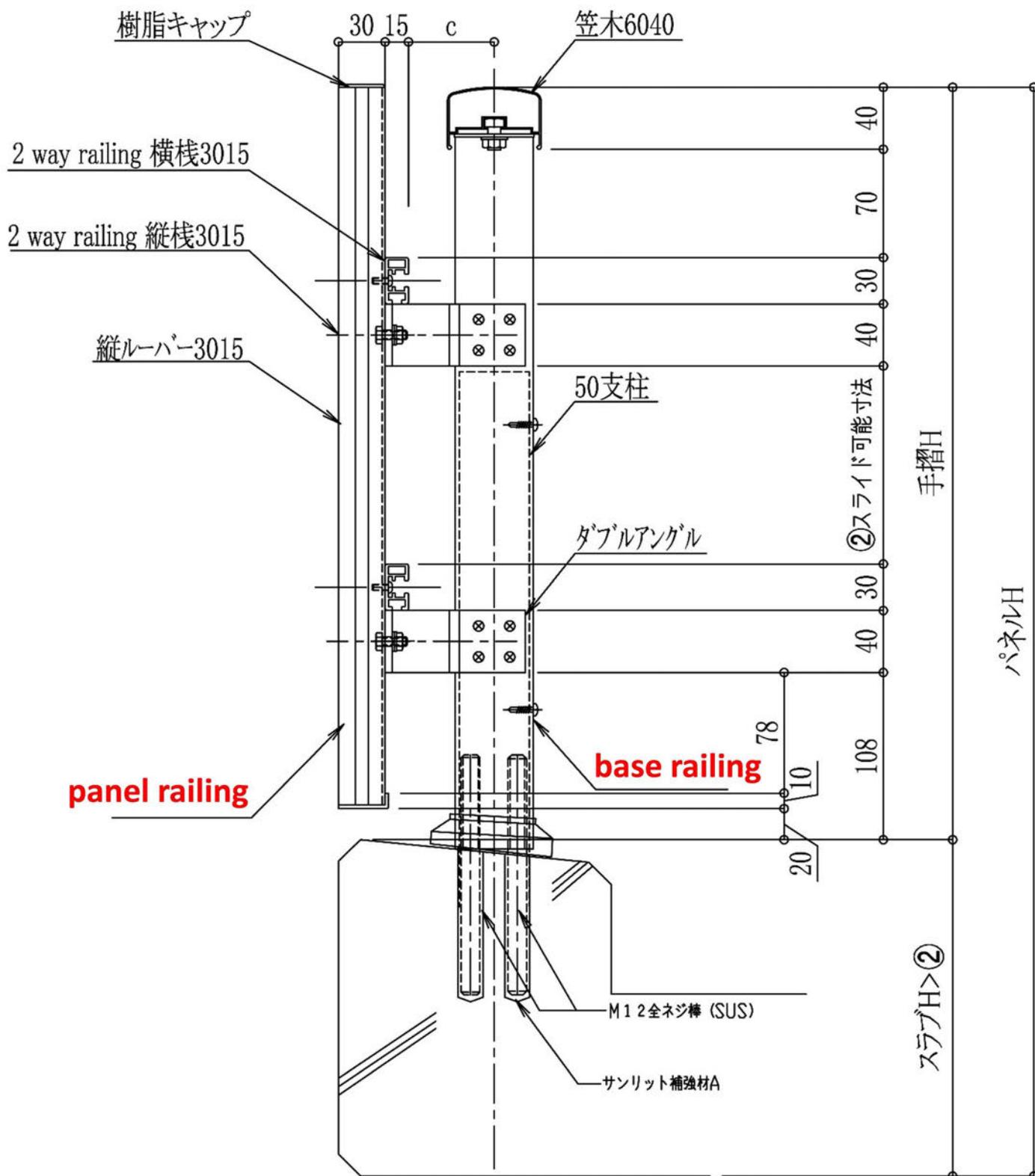


基本図

ミネルバ エスアール 3015

minerva SR 3015

開口内納まり



minerva sr amy sr



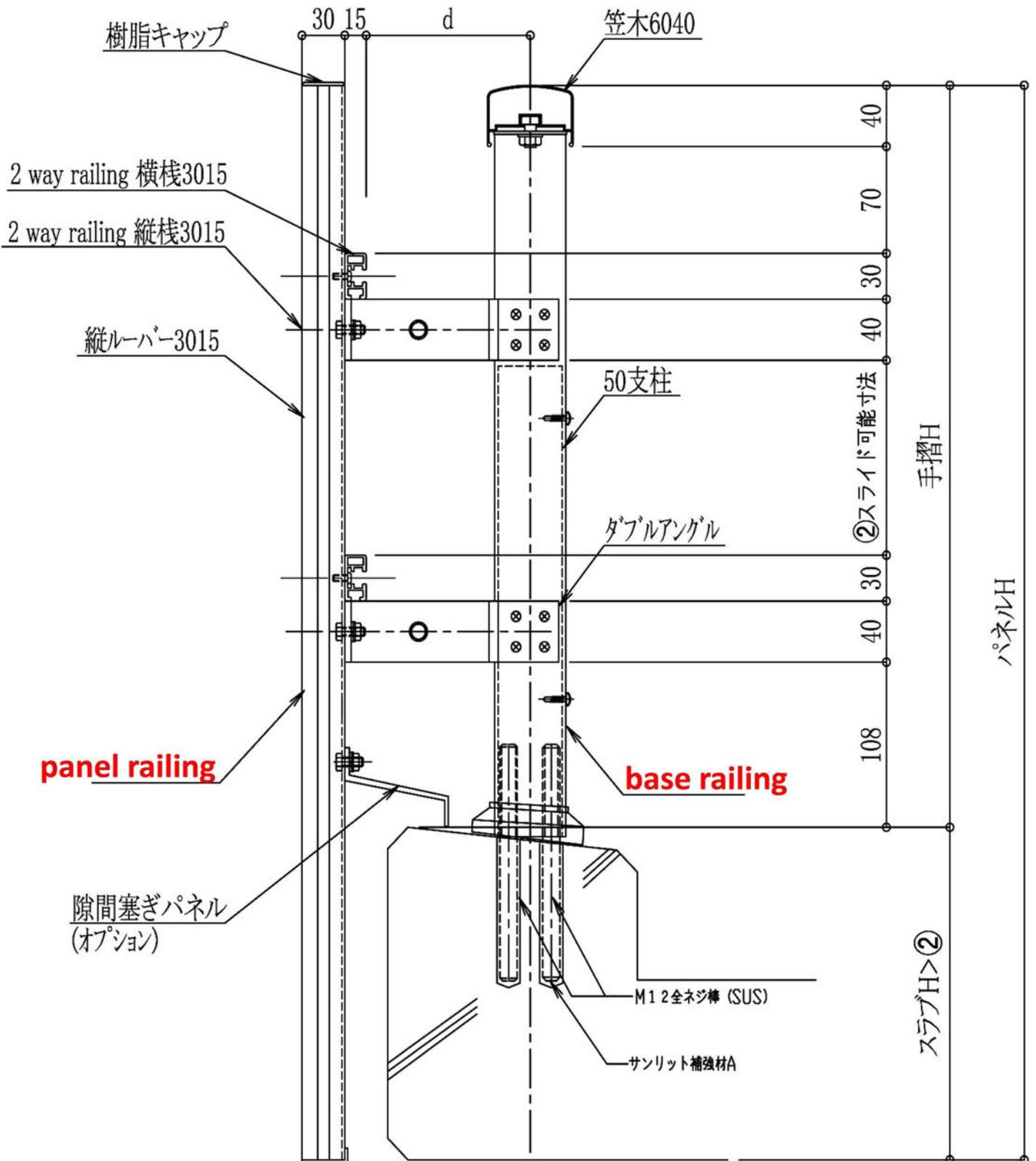
ミネバ^{sr}とエイミー^{sr}にランダムに焼き付け塗装をした商品です。並び順はバラバラのようですが、配列プログラムにより管理されております。又、縦ルーバー（ミネバ^{sr}）を90°回転させると横ルーバー（エイミー^{sr}）になりますが、機能も同様に、縦も横も上下左右摺動致します。

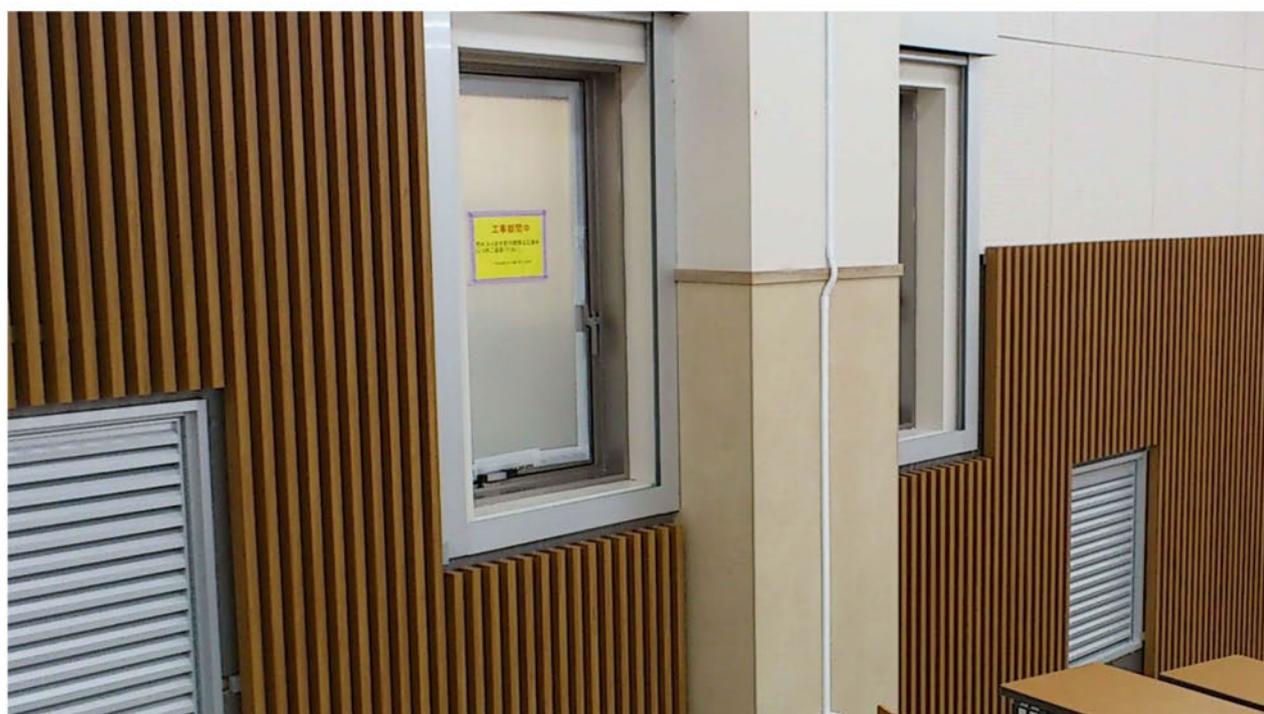
基本図

ミネルバ エスアール 3015

minerva sr 3015

開口外納まり





木目調に焼き付け塗装したルーバーを室内に施工したものです。

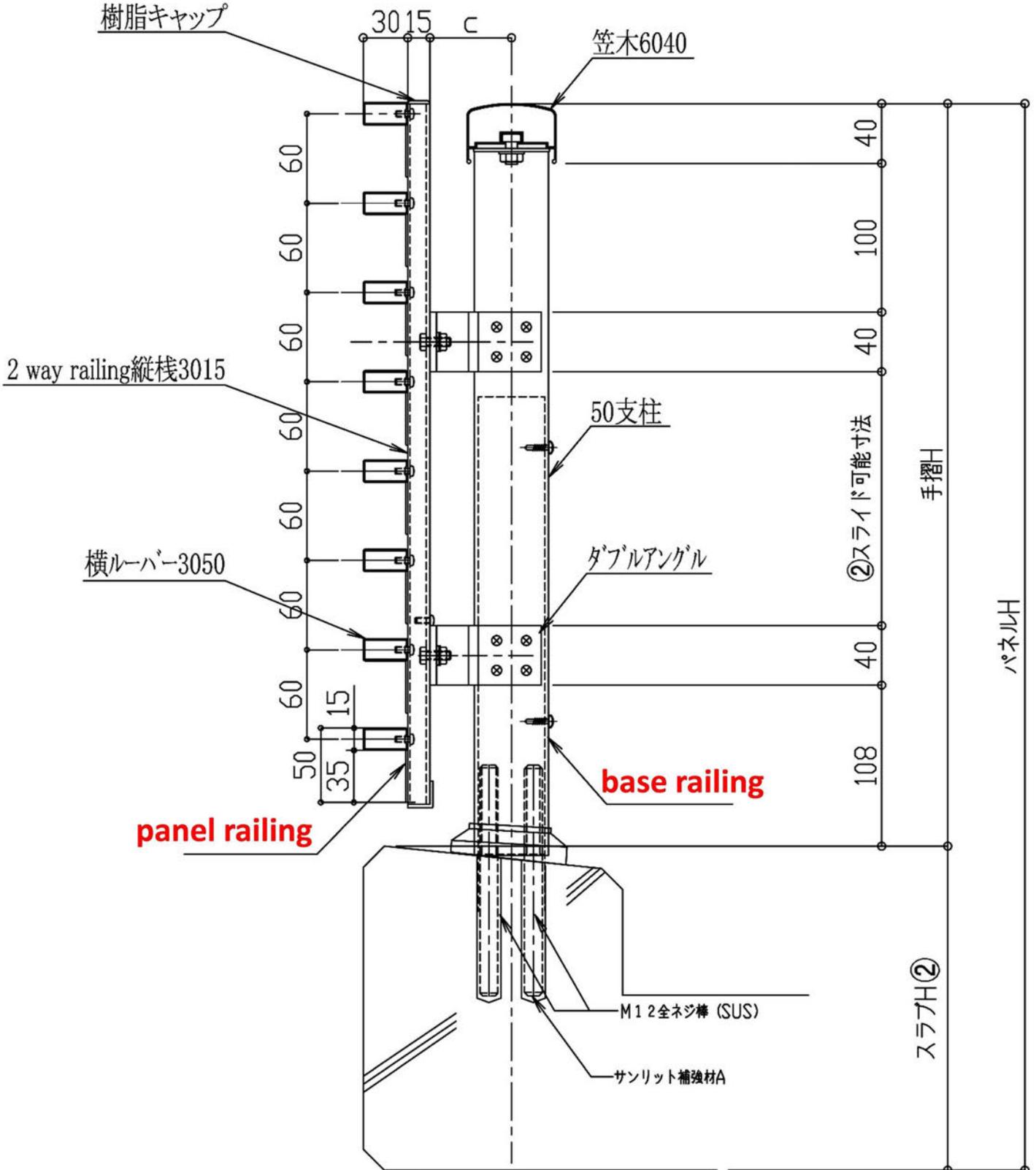
エイミー エスアール
amy sr



基本図

エイミー エスアール 3050_q

amy sr 3050_q 開口内納まり



エイミー エスアール

amy sr



ルーバーリスト

<p>Feli_2225</p>	<p>Feli_3015</p>	<p>Feli_8065</p>
<p>Feli_4025</p>	<p>Feli_4015</p>	<p>Feli_3045</p>
<p>Feli_4015_fin1</p>	<p>Feli_4020</p>	<p>Feli_4060</p>
<p>Feli_3522</p>	<p>Feli_5022</p>	<p>Feli_13575</p>
<p>Feli_2540</p>	<p>Feli_3050</p> <p>パンチング可</p>	<p>Feli_10575</p>
<p>Feli_2550</p>	<p>Feli_9022</p> <p>パンチング可</p>	<p>Feli_10020</p>
<p>Feli_2580</p>	<p>Feli_10060</p>	<p>Feli_6030_R15</p>
<p>Feli_6051_15R</p>	<p>Feli_10060</p>	<p>Feli_6030</p>
<p>Feli_4025</p>	<p>Feli_15075</p>	<p>Feli_8030</p>
<p>Feli_7520</p>	<p>Feli_10030</p>	<p>Feli_9050</p>

スライディング ファンクション

sliding function

全商品が上下にスライド出来ます。

全商品の手摺の上下スライド化は、手摺の機能として絶対条件になってきます。

手摺以外のパレット回りの作業がある場合、手摺が邪魔になり、作業できません。特に足場が解体された後の検査で、ルーバー外部に傷、凹み等が見つかった場合、足掛かりを考え、殆ど隙間もなく手も届かない為、内部からの補修は出来ません。その結果外部からの手段を考えなければならなくなります。もしそういった事を事前に検討を加えていたとしてもそれはその場限りの処理であり、形状の合わない材料が混じり合う結果となりデザイン、コスト、継続したメンテナンスどれをとっても問題は解決しません。現にこれらの事を考えて、全商品を標準化している会社はありません。当社のe_unitは、手摺に使用する全商品を上下左右にスライドさせる事が出来ます。手摺と躯体とのほとんどない隙間は、手摺を上部へスライドアップしておき、仕上げが完了したらスライドダウンさせる事で解決します。余分な施工手間がかからぬように手摺ルーバーと棧の外径が同一寸法の為、見栄え的にこれ以上ないシンプルさとなっております。

室外機やパーティションを隠す為、パネルを複数枚上下に貼る場合、下部パネルのみ上部へスライドさせる事が困難なようですが、スライディングブラケットによる出幅の調整により1枚毎にスライド出来ます。

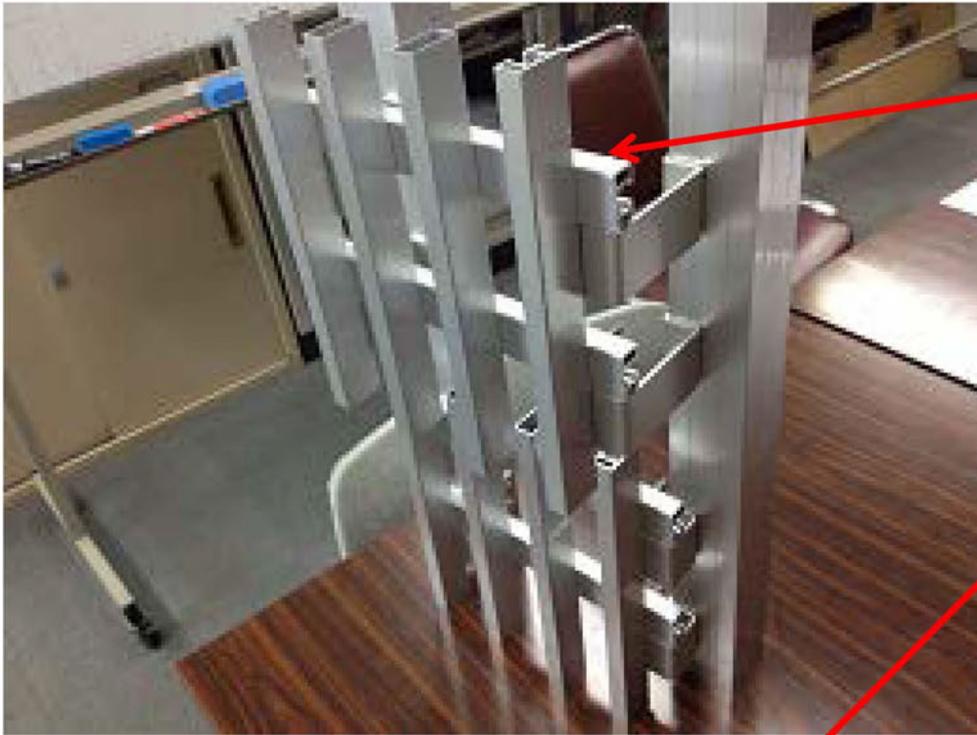
手摺（笠木と支柱）はそのままで、パネルは開口部が隠れるサイズにし、サブ外へ持ち出します。外部からはパネルだけが見え、隙間は一切見えません。



passing function

通過機能

パッシングファンクションとは、格子ルーバーが干渉しあい、上下左右に通過出来ず、開口を設けたりする事が出来ないとか、補修が出来ないなどの問題になる事を防ぐ機能です。この場合、ダブルブラケットにより出幅アジャストする事で解決します。



ストップのダブルアングルの上に横棧が固定されている状態

30mmスライドアップした状態。



バンピー ファンクション

bumpyfunction

パネ前出機能

同面でルーバーを貼った場合、スライディング機能など、いろいろな機能を持っていてもルーバー同士が干渉仕合い、施工が困難になる場合が多くあります。バンピー機能は干渉を防ぎ、パネを前後に持ち出す工法です。滅多に使用する事のないくぐり戸のような場所には、この機能を使えば簡単に加工出来ます。



上の写真は、右側ルーバーを30mm前出ししたものです。角度が変化してもほぼ変わりません。



前出しした事で、干渉の心配はありません。（干渉しない場所では前出しの必要はありません。）



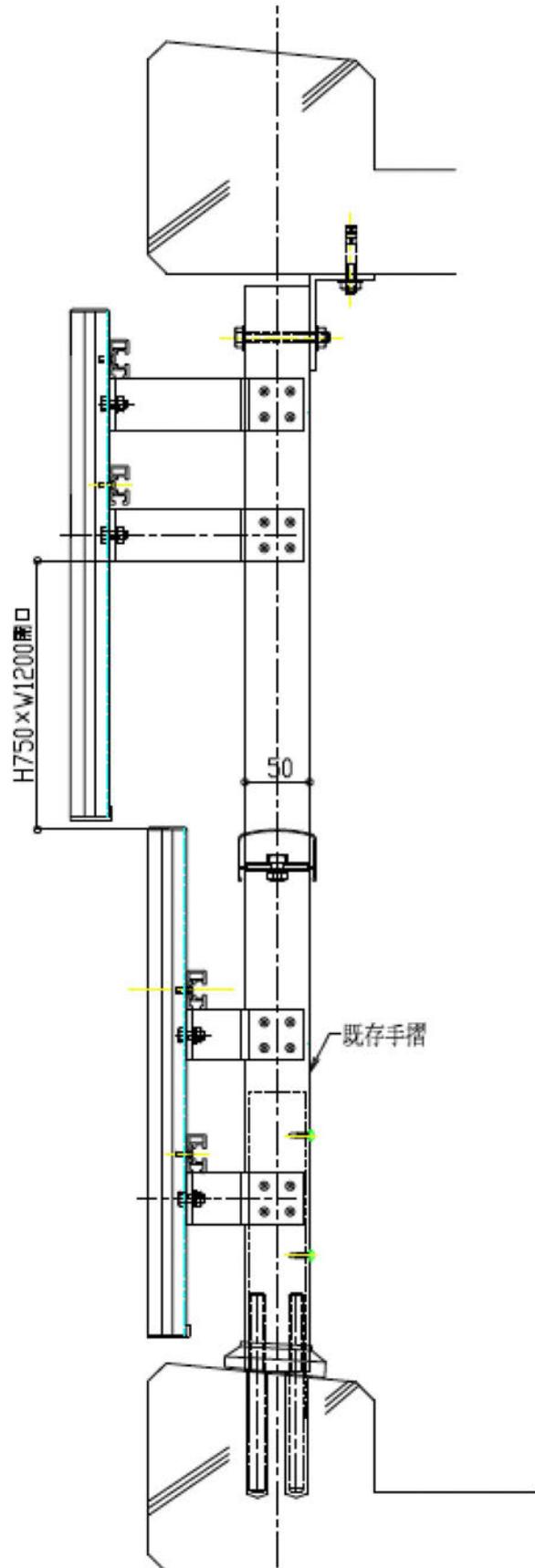
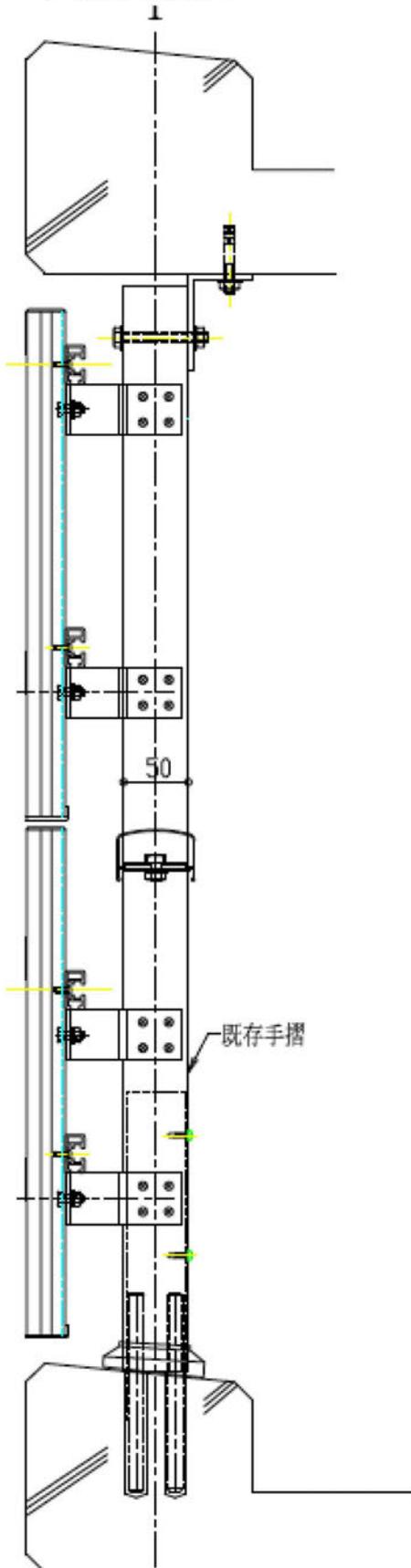
ルーバー手摺は全て同形状。寸法の違う高価な門扉を使用するよりは、見栄え良く納まります。

バンパー ファンクション

bumpy function

パネル前出機能

ダブルブラケットにより出幅を調整する機能です。これにより開口を作ることができます。



ルーバー ユニット

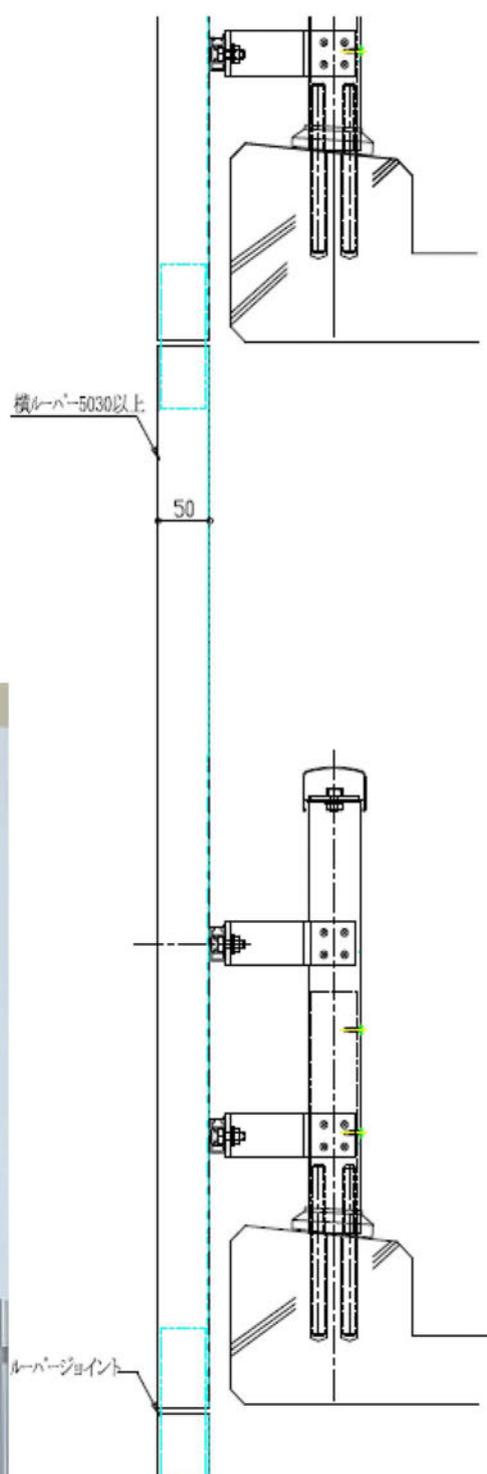
louver unit

ルーバー付手摺

下地ストリッガー不要のルーバー

バルコニーに手摺とルーバーを取り付ける場合、それぞれに取り付け下地が必要となり、大きな無駄が発生しております。**e_unit**では笠木と支柱を手摺下地とし、その下地にルーバーを取り付けるという事で、ルーバーの下地は不用となります。出荷は全て組み上げ出荷となり、工事スピードも早く、今後のルーバーはこのように変わっていきます。

- ◆ルーバーサイズは5030以上になります。
- ◆笠木、支柱などはルーバーの下地となり、外部から見えない為、笠木見付、形状、色、勾配、支柱サイズなど気を使う必要がなくなります。
- ◆上下、左右、そして出方向に摺動可能な為、点検口などが同部材で簡単に出来ます。



dry unit h380

サンリット物干付手摺

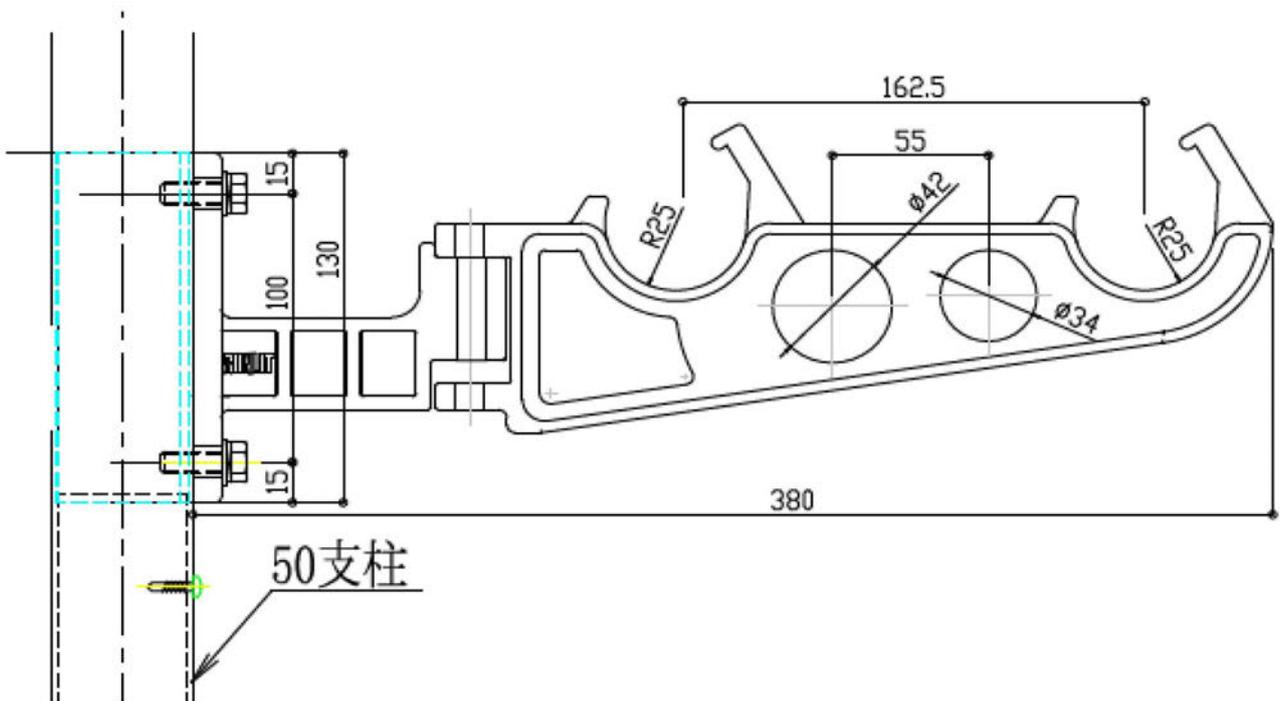
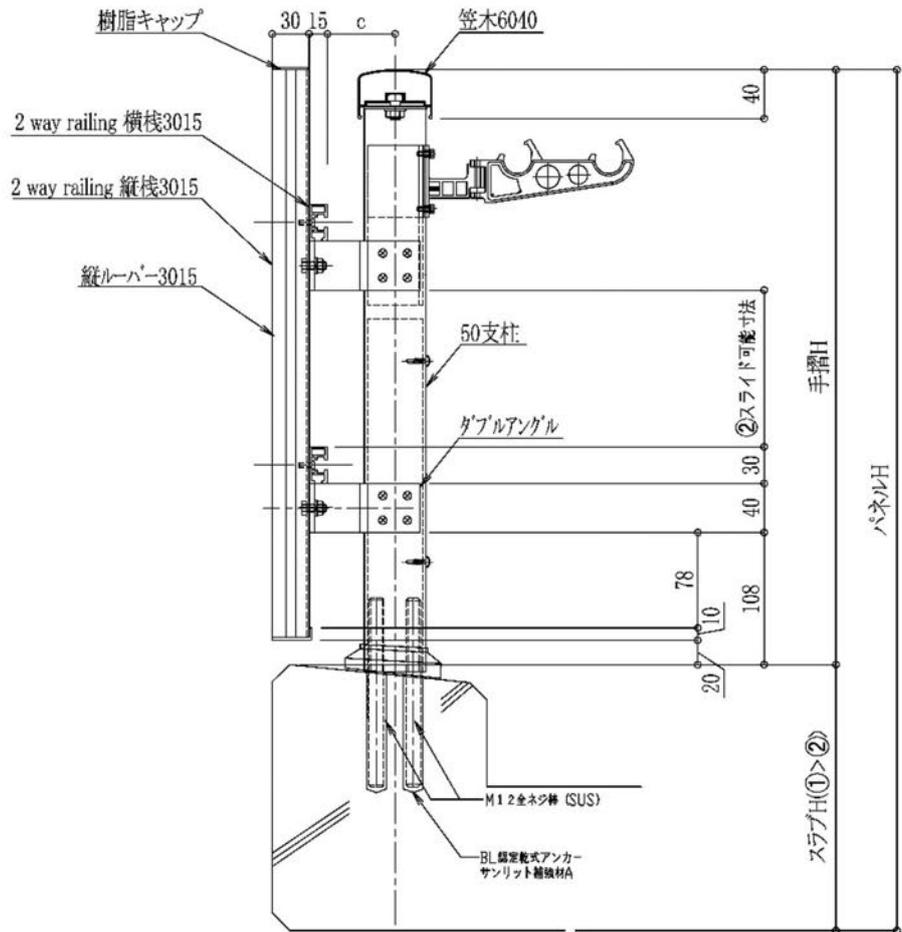
サンリットのセット化商品です。

予め物干を取り付けて納品致します。

メリットとしては、

◆工場取り付けの為、均一な仕上がりが出来ます。

◆取り付け用の裏板の有無、形状などの検査も、工場加工で万全です。最大のメリットは、現場取り付け費用がかかりません。手摺の取り付けが完了すれば同時に完了です。よって工程管理も不要となります。



cover unit

パーティションと室外機置場をかバーする。

室外機とパーティションをかバーします。搬入、入れ替え、修理などで開口部分が必要となりますが、**e_unit**は、上下左右前後に摺動可能ですので、問題ありません。写真では上部ルーバーになっておりますが、あらゆる形状のルーバーを貼る事が出来ます。



オーバーユニット over unit

子供の落下事故を完全に防ぐ。

落下の主な原因は足掛かりと思われます。引き渡された時には、基準に基づいているのですが、使用され始めると、椅子や植木鉢やら沢山の足掛かりができ始め非常に危険な状態となります。オーバーユニットはバルコニー全体を塞ぎ、バルコニーからの落下を完全に防ぎます。



Sliding/passing/bumpy functionの3つの機能を使ったover unit/重ね合わせた手摺によって、落下をなくします。



オーバー ユニット

over unit

2重に重ねた手摺

必要な時には天井まで格子ルーバーを伸ばし不要時には通常の高さに戻す事が出来ます。

建築基準法施行令第126条の6
火災時の消火活動や救出活動の際に、外部からの進入を容易にする為の進入口については、建築基準法で「建築物の高さ31m以下の部分にある3階以上の階には、非常用の進入口を設けなければならない。」と規定されています。

非常用進入口の構成

$W \geq 750\text{mm}$

$H \geq 1200\text{mm}$

e_unitでは、bumpy functionにより同部材でスライディング開口を設ける事が出来ます。



オーバーユニット over unit

左から一般的なH=1100の手摺。中央はH=2000程度の高さに上げた手摺。右はバルコニー全体を塞いだもの。子供が小さく危険度が高い間は右側のように全面を塞ぎ、危険がなくなれば左の状態に戻す事が出来ます。



①同じ格子ルーバーをH=1100で重ねて施工します。



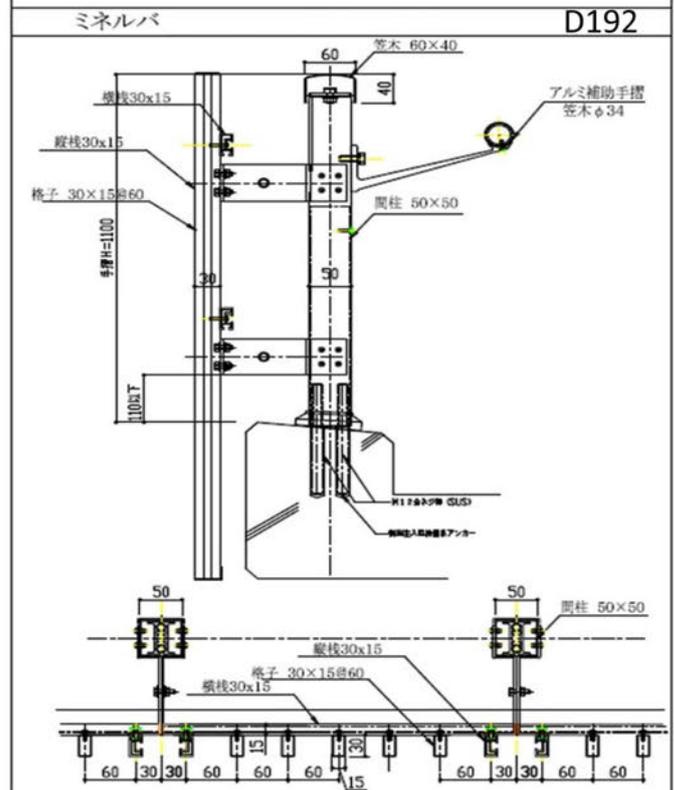
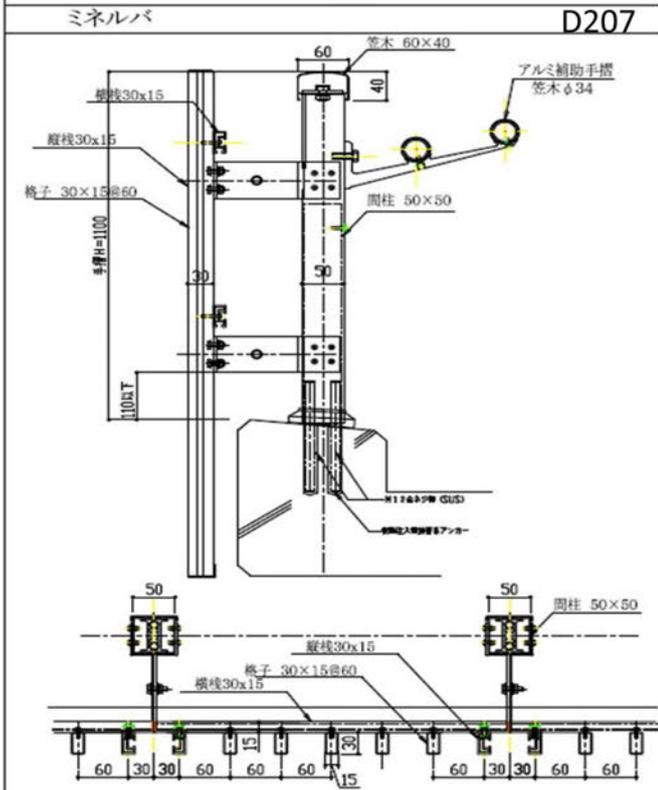
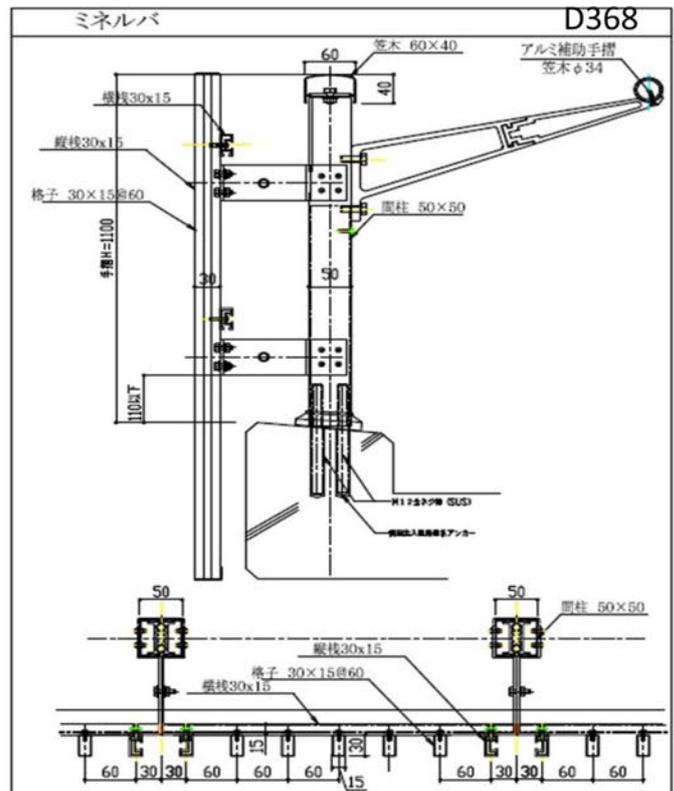
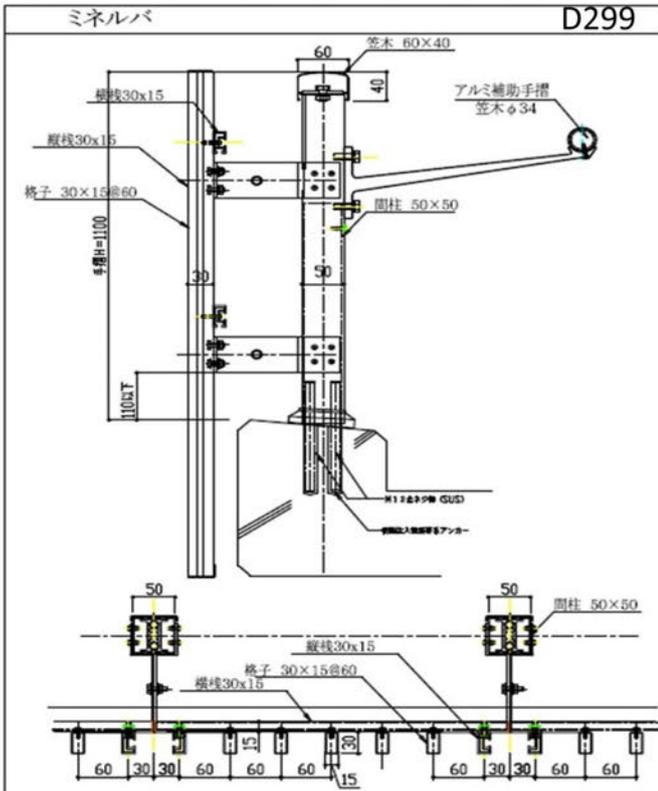
②左側(内側)が残り、右側が上部へスライドします。



セーブ ユニット
save unit

落下恐怖感をおさえる。

多くのマンションで、ガラスの持ち出し幅がほとんどなく、マンションの真下が直接見え、相当な恐怖感となっております。恐怖感を感じさせない為には、出幅の長い補助手摺を取り付けます。また、パネルを内外逆に取り付ける事で、同予算で恐怖感を押さえる事が出来ます。



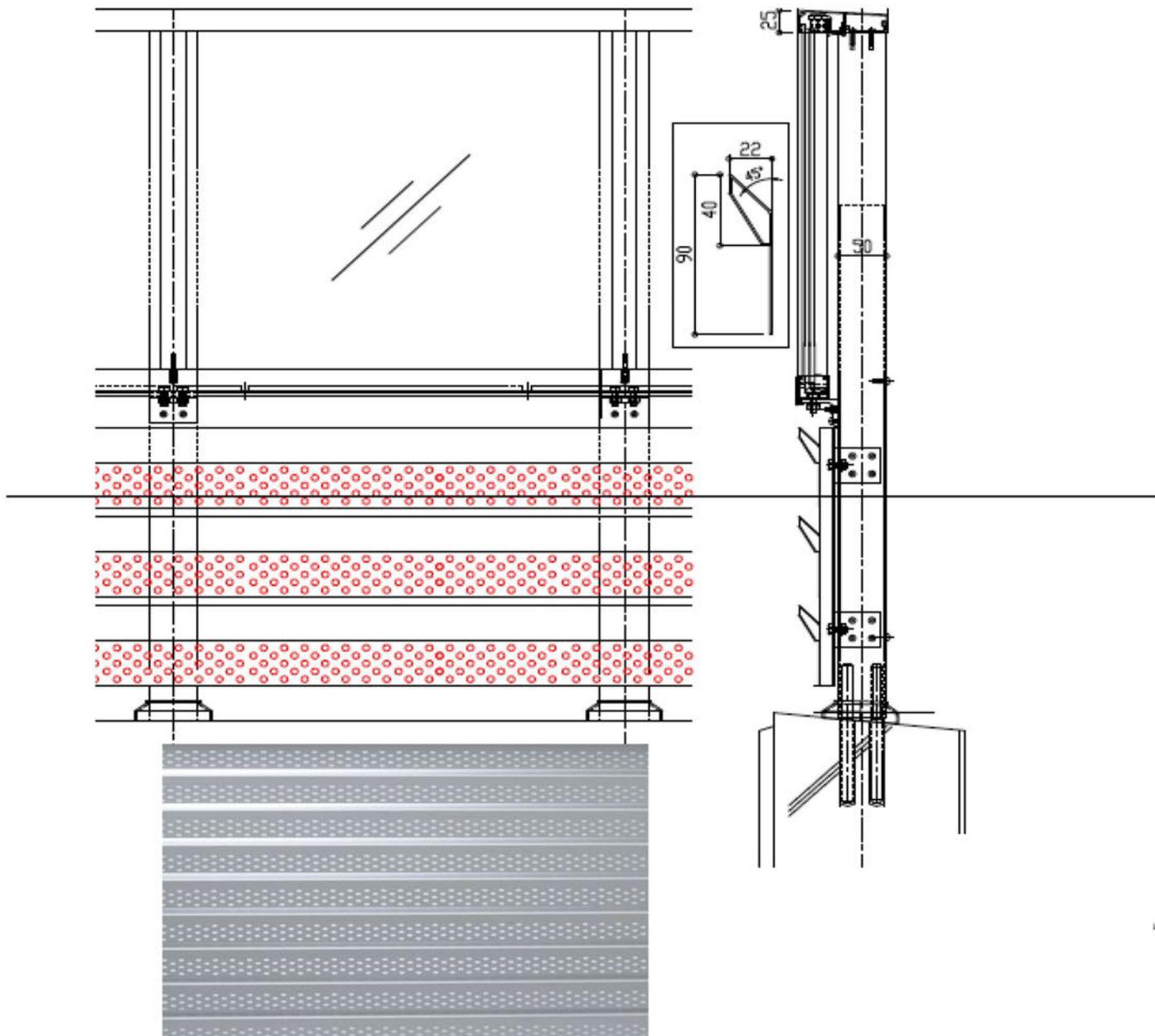
save unit

補助手摺のブラケットW=
192/207/299/368の4種

アット ユニット add unit

一般の手摺にe_unitの
機能を付け加えます。

下部目隠しとして、インルーバーを3本通し、
ガラスの面積を60%程度に落とします。イン
ルーバーは有孔ルーバーですので、採光性、採風
性、目隠し効果に優れます。特にバルコニーに
ルーバーを使用すると明るくなり最適です。



- ◆ガラスの面積比率を60%程度に落とす事が出来ます。
- ◆上下2辺支持でスマートな設計ができます。
- ◆パンチングルーバーはバルコニーを明るくします。
- ◆この商品は上下左右前後全ての方向に摺動する構造でパラペット上の仕上などは、パネルを持ち上げて行えるなど新しい機能により、多くの用途に対応します。

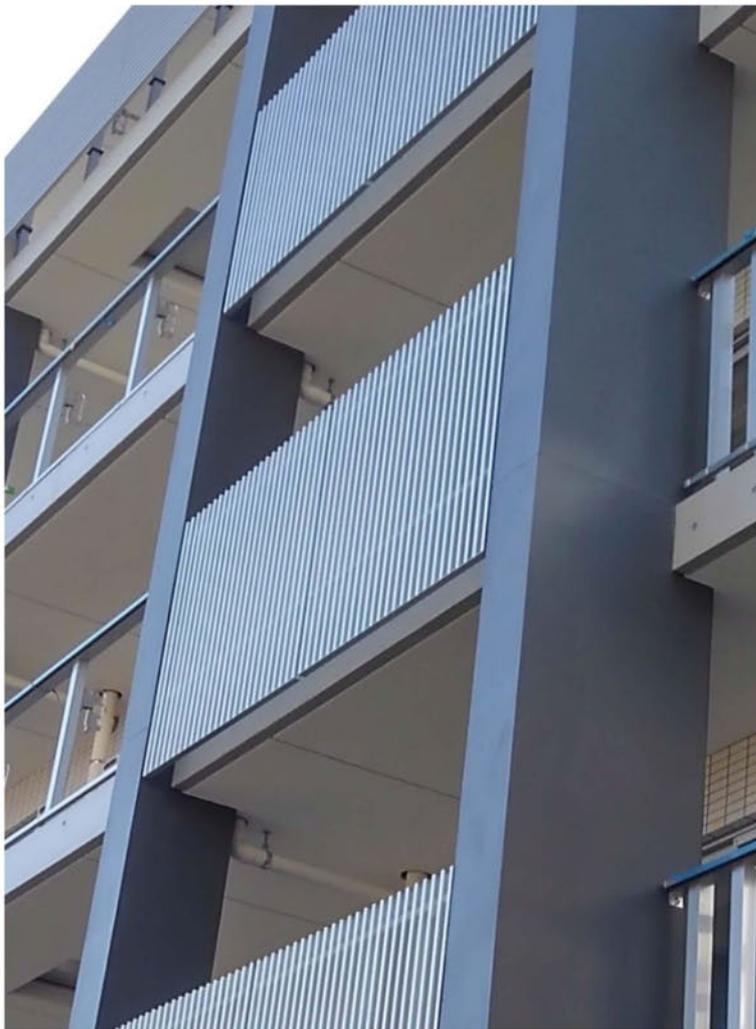
ギャップ ユニット

gap unit

ルーバーと躯体の隙間を無くす。



従来の手摺では、支柱と袖部分、下弦材とパラペット天端部分に大きな隙間があり足掛かり部分を無くす為に、これらの隙間を無くさなければなりません。

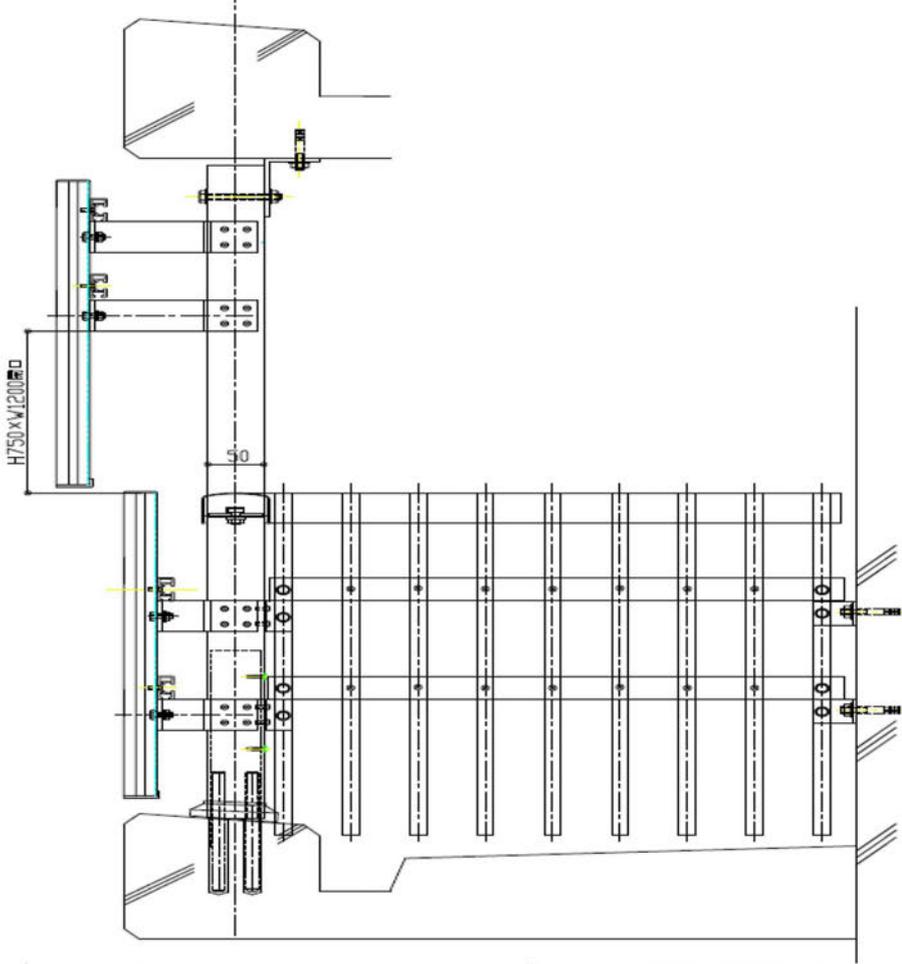


e_unit minerva sr3015は2way railing工法により隙間を0に出来ます。デザイン面でも、当社保有の全てのルーバーを貼る事が出来ます。

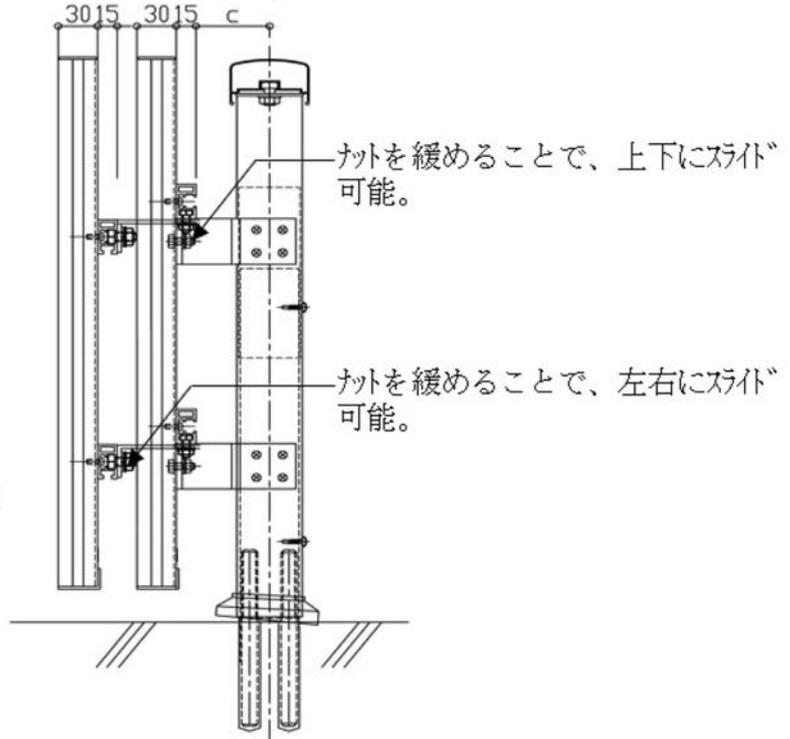
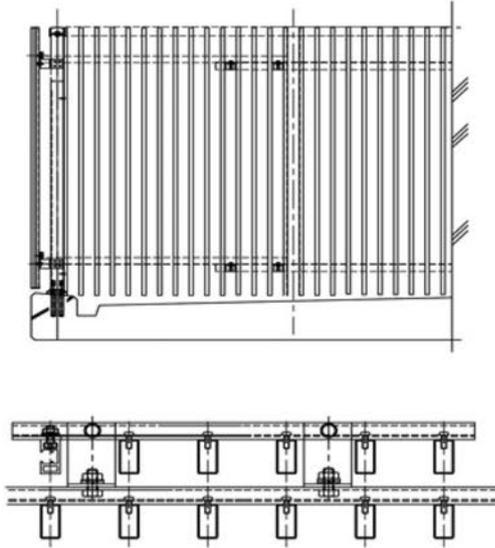
また、笠木と支柱は下地の為、パネルの裏にセットされ見えなくなるのでデザイン上で気を使う事はありません。ルーバーパネルは3方向自在摺動型で他業者とのからみも、それを利用して避けられます。

up down door unit

上げ下げ扉

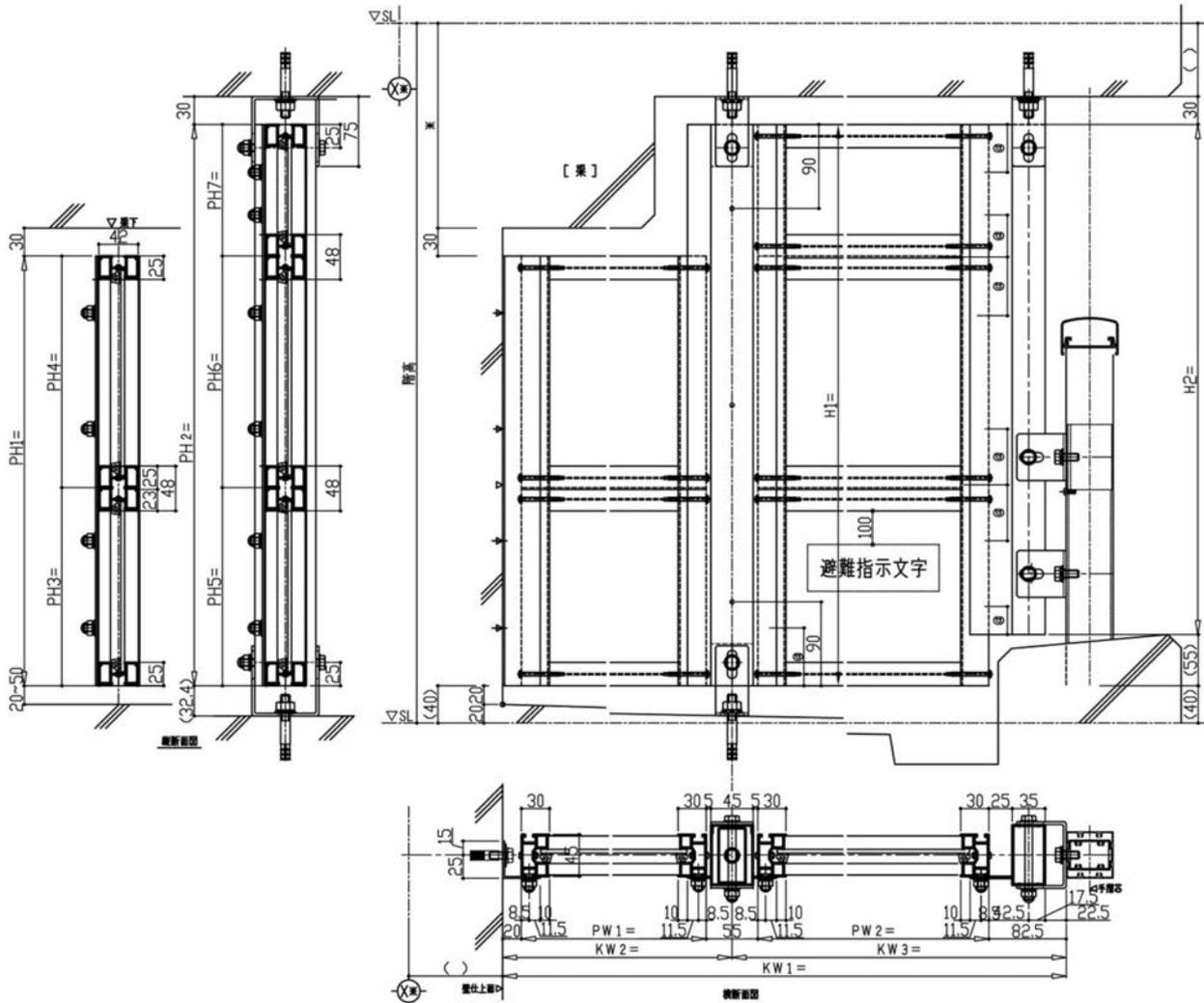


サービスバルコニー、パーティション、室外機置き場などで、開閉頻度は多くないが、点検などで入る必要があるという場合には、手摺の一部に上部スライド機能をもたせておけば、簡単に開閉出来ます



スタック パーティション
stack partition
 超高層用積み重ね式
 パーティション

超高層マンション向けに製作しているユニット式のパーティションです。方立柱間にボードパネルを積み重ね、ボルトで固定していただけます。ドブ塞ぎプレート、隙間塞ぎ、映り込み防止パネルなど用意しております。



東急不動産
 大成建設
 二子玉川ライズタワー&レジデンス



アルミ手摺、パーティション
 は超高層で多くの実績
 があります。

三井不動産レジデンス
 大成建設名古屋
 パークタワー豊田



三井不動産レジデンス
 鹿島建設
 イーストゲートタワー川口

スタック パーティション stack partition

中低層用から超高層用に作られた業界初の積み重ね方式の間仕切り材です。パーティションの設置工事は、最終工程の為多くの業者との同時作業となり、より細かな工程組が必要となりますが、ベランダを仕切ってしまうため、金属工事の中でも最も納期の難しい商品となっています。荷揚げ、配置、そして再移動、再配置などの工程に合わせるのは面積があり、しかも長物重量物であり難しい事ですが、パーティションを下地方立とパネルとに分解して考えれば、方立を先行搬入先行取り付けし、パーティションパネルはいつでも短時間で工程通りに施工する事が出来る訳です。スタックパーティションは、そういった考え方を基に荷揚げのタイミング、施工のタイミングなどに合わせ瞬時に施工してしまうよう設計されたパーティションです。固定は方立に緩み止めのボルトナットで下から順に積み重ねていくだけです。

特徴

ごみの流れ止め防止パネルを標準で取り付けられています。アルミ板パンチング加工8φ15p

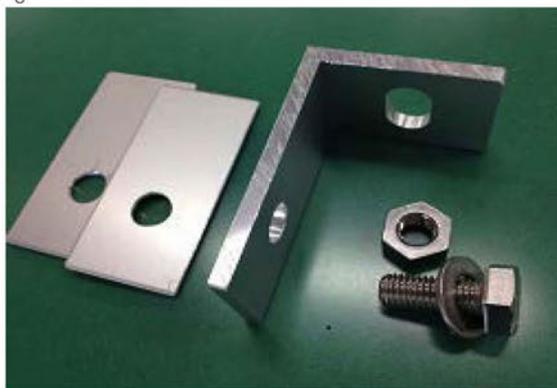
御隣の様子が手摺のガラスに反射した映り込み防止を防ぐ映り込み防止板をオプションでつける事が出来ます。

方立てにはボルト穴の加工がされており、パネルに通ったレールにボルトを通し、パネル枠に穴をあける事無く下段から順に積み重ねて固定していきます。

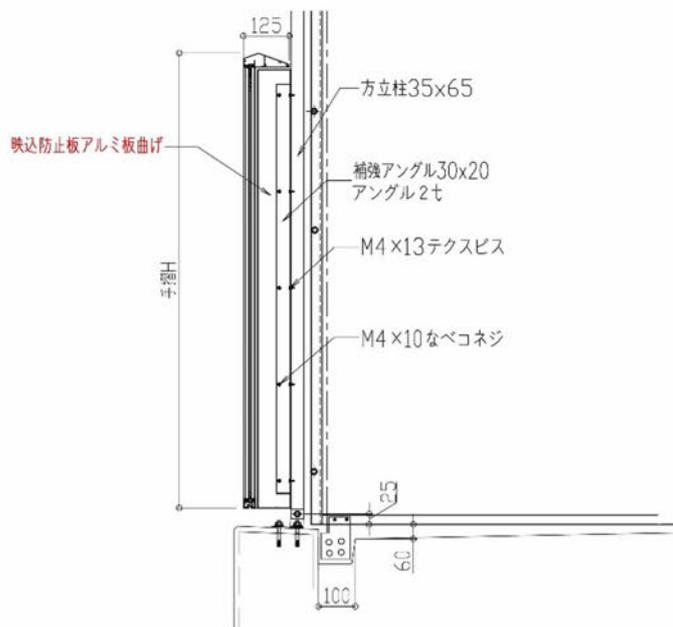
躯体側には隙間隠しアングルL-40*40*1.5を通して取り付けし、隙間を埋めます。

製品は方立とパネルのみ。部品は本体にセットされているので、不足などの問題がありません。パネルを固定するナットには回り止め機能のあるUナットを標準仕様としております。

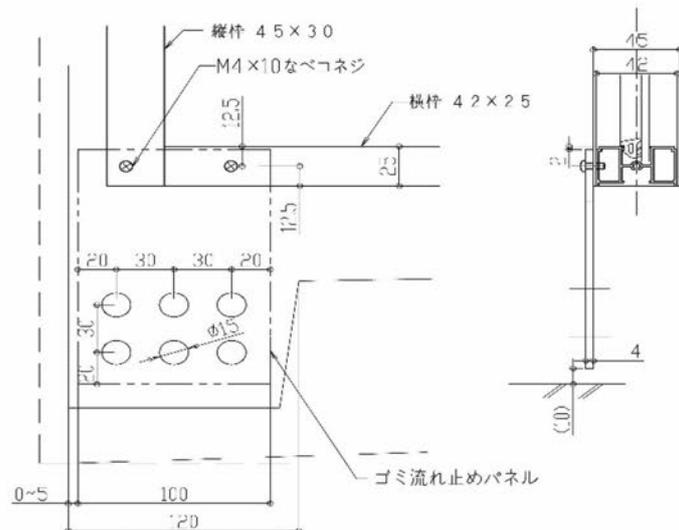
方立上部固定部品は3方向へアジャスト出来る部品を用意し、インサートの位置不良が出た場合に使用出来ます。



3方向アジャスト



映り込み防止板



ゴミの流れ止めパネル

新しい角度から発想する会社

SUNLIT Corporation,Japan
Certified Architecture Corporation:
National License: No 18-14113
Head Office,4-30-8 Ryogoku Sumida-ku Tokyo,Japan 130-0026
Phone 03-3635-3297 Fax 03-3635-3372
<http://www.sunlit-co.co.jp>

サンリット工営株式会社

国土交通大臣許可（般-26）第 25532 号
優良住宅部品（BL）認定製造業者

本社

〒130-0026 東京都墨田区両国4-30-8
Phone.03-3635-3371 Fax.03-3635-3372
<http://www.sunlit-co.co.jp>

関谷工場

〒329-2801 栃木県那須塩原市関谷 1111-4関谷工業団地
Phone.0287-35-3693 Fax.0287-35-3694

岩井工場

〒306-0624 茨木県坂東市矢作3161-2
Phone.0297-38-0700 Fax.0297-38-0732